

第46回東通村産業まつり

好天に恵まれた10月26日(日)、村体育館及び駐車場を会場として、第46回東通村産業まつりと第22回東通村健康まつりが同時開催されました。

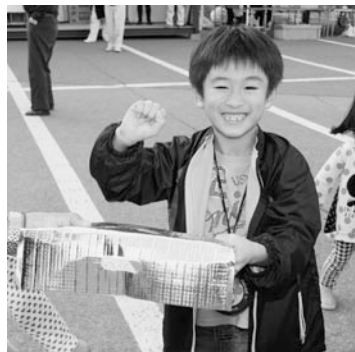
産業まつりのオープニングセレモニーでは、越善靖夫村長はじめ関係者の方々が力を合わせて一つの餅をつき、詰めかけたたくさんの方々に振る舞いました。

会場では鮭のチャンチャン焼きが無料提供されたほか、新そばや手作りの郷土料理、東通牛大鍋やブルーベリーの商品開発コーナーなど、東通村の特産品・加工品が勢ぞろい。来場者は、ポップスバンド「GEMMY PEAKS」の演奏に耳を傾けながら、東通村の秋の味覚に舌鼓を打っていました。

恒例の「サケのつかみ取り」では、子供たちが水しぶきを上げながら



村長の餅つきでまつり開始!



突然、「東通牛」が当たることも!

サケを追いかけて、時には涙ぐみながらも、立派なサケを捕まえています。同じく人気コーナーの「ミニミニ水族館」では、川や海の生き物を間近に見ることができ、大人も子供も驚きと感動の表情でした。

また、体育館内では木工体験コーナーが親子連れで賑わい、釘を打つ音が響きました。館内では下北地域県民局が寒さに強く冷めても美味しい「ほっかりん」の紹介展示を行いました。

そして、お待ちかねのビンゴゲーム。来場者はカードを握りしめ、番号の発表に耳を澄ませます。お目当ては何といつても「東通牛」。突然回ってくる「東通牛」の当選順に、参加者は様子を伺いながら景品の列に並んでいました。



漁協関係者がサケのチャンチャン焼きを振る舞いました



驚きいっぱいのミニミニ水族館



新鮮な農水産物をたくさんの方が買い求めました



家族でビンゴゲームにドキドキ



大きなサケと格闘!



森林組合が開催する親子の木工体験